

令和7年（2025年）11月17日

株式会社バイタルネット

山形大学医学部

地域住民のWell-Being向上を目指し 山形大学医学部と包括連携協定を締結しました

2025年11月17日（月）、弊社は山形大学医学部との間で「地域住民のWell-Being向上を目指した包括連携協定」を締結いたしました。山形大学の知見とバイタルネットの広域ネットワークを融合し、健康アプリ「Well-Being YU」を活用した、データに基づく健康増進策を推進します。

【本件のポイント】

- 学術機関と地域中核企業の連携**：山形大学の持つ研究開発力・データ分析力と、バイタルネットが持つ東北・新潟・関東における広域の医療機関・自治体との強固なネットワークを組み合わせ、実効性の高い健康増進策を展開します。
- 健康アプリ「Well-Being YU」の活用**：利用者が日々の幸福度や健康行動を手軽に記録・可視化できるアプリ「Well-Being YU」 (<https://wellbeing-yu.com/>) を中核ツールとして活用。個人のセルフケア意識向上と、集団の健康状態の把握を促進します。
- 自治体連携の強化**：自治体との連携を重視する両者が協力することで、既存の連携関係をさらに深化させ、データに基づいた効果的な公衆衛生施策の立案・実行を支援します。
- 健康経営の推進**：企業や団体向けに提供されている「Well-Being YU」の分析結果フィードバック機能を活用し、バイタルネットの取引先企業等における健康経営を積極的に支援します。

【背景】

近年、国民の健康意識の高まりとともに、企業における「健康経営」や、自治体におけるデータに基づいた「EBPM（証拠に基づく政策立案）」の重要性が増しています。

山形大学Well-Being研究所は、このような社会的要請に応えるべく、日々の生活習慣や幸福度を記録・分析できる健康アプリ「Well-Being YU」を開発しました。既に山形県内企業や自治体向けに集計結果をフィードバックするサービスを開始しており、将来的に自治体の政策立案に貢献することも視野に入れています。

一方、バイタルネットは「地域の健康を守る社会インフラ」としての役割を担い、医薬品の安定供給に留まらず、東北6県および新潟県の多数の自治体と「健康増進に関する連携協定」を締結するなど、地域社会の健康課題解決に深くコミットしてきました。

今回の協定は、地域貢献という共通の理念を持つ両者が、それぞれの資源と専門性を融合させることで、地域住民一人ひとりのWell-Being向上に、より大きなインパクトをもたらすことができるとの認識を共有し、締結に至りました。

【今後の展望】

本協定に基づき、以下の取り組みを推進してまいります。

- 1. 健康アプリ「Well-Being YU」の普及促進：**バイタルネットが持つ約20,000軒の医療機関・薬局との取引関係や、連携する自治体のネットワークを活用し、「Well-Being YU」の認知度向上と利用促進を図ります。
- 2. データに基づいたソリューション提供：**アプリから得られる（個人が特定できないよう統計処理された）データを分析し、特定の地域や職域における健康課題を可視化します。その結果を基に、バイタルネットが医療機関や自治体に対し、具体的な健康増進策や啓発活動を提案します。
- 3. 新たな官民学連携モデルの構築：**本連携をモデルケースとし、将来的には東北全域において、大学の知見と企業の実行力を組み合わせた持続可能な健康増進プラットフォームを構築することを目指します。

<「地域のWell-Being向上プロジェクト」のイメージ図>



お問い合わせ

株式会社バイタルネット 流通・地域アクセス部 地域医療連携担当 天江健史
TEL 022-266-8702 メール t-amae@vitalnet.co.jp

山形大学医学部 学術研究院教授 今田恒夫（公衆衛生学・衛生学）
TEL 023-628-5260 メール kkonta@med.id.yamagata-u.ac.jp
飯田キャンパス事務部研究支援室 國分裕基
TEL 023-628-5015 メール yuki-k@jm.kj.yamagata-u.ac.jp